

**製品名: PARP-4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15768**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	PARP4 PARP4; ADPRTL1; KIAA0177; PARPL; Poly [ADP-ribose] polymerase 4; PARP-4; 193 kDa vault protein; ADP-ribosyltransferase diphtheria toxin-like 4; ARTD4; PARP-related/lalpal-related H5/proline-rich; PH5P; Vault poly(ADP-ribose) polymerase; VP
別名	
遺伝子 ID	143.0
SwissProt ID	Q9UKK3
免疫原	抗血清はヒト PARP4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1151-1200

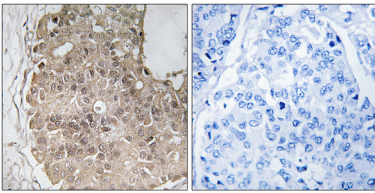
**背景**

この遺伝子は、ポリ(ADP-リボシル)トランスフェラーゼ様タンパク質 1 をコードしており、ポリ(ADP-リボシル)化反応を触媒することができます。このタンパク質は、ポリ(ADP-リボシル)トランスフェラーゼの触媒ドメインと相同性のある触媒ドメインを有していますが、ポリ(ADP-リボシル)トランスフェラーゼの C 末端触媒ドメインを活性化する N 末端 DNA 結合ドメインを欠いています。このタンパク質は DNA に直接結合できないため、そのトランスフェラーゼ活性は、広範なカルボキシル末端を介したタンパク質間相互作用など、他の因子によって活性化される可能性があります。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性:NAD(+) + (ADP-D-リボシル)(n)-アクセプター = ニコチンアミド + (ADP-D-リボシル)(n+1)-アクセプター,類似性:BRCT ドメインを 1 つ含む,類似性:PARP アルファヘリカルドメインを 1 つ含む,類似性:PARP 触媒ドメインを 1 つ含む,類似性:VWFA ドメインを 1 つ含む,細胞内局在:核内にも存在し、有糸分裂紡錘体に関連している,サブユニット:ポルト リボ核タンパク質粒子の構成要素で、少なくとも MVP、PARP4、および 1 つ以上のポルト RNA (vRNA) から構成される。MVP に結合し、TEP1 と関連する,組織特異性:広く発現しており、腎臓で最も高レベルである心臓、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、脾臓、白血球、膵臓でも検出されます。

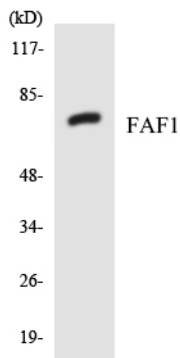
## 研究分野

塩基除去修復;

## 画像データ



PARP4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



FAF1 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。